

岡谷市地域公共交通計画策定支援(調査)業務

業務計画書

2022年(令和4年)8月



目 次

1. 業務概要.....	1
1-1. 業務の目的.....	1
1-2. 業務の概要.....	1
2. 業務内容.....	2
2-1. 地域概況・公共交通機関の実態把握.....	2
2-2. 現行計画の評価及び上位・関連計画整理.....	3
2-3. バス路線OD調査・利用者アンケート調査.....	3
2-4. 移動交通量の調査及び住民意向の把握.....	4
2-5. 路線評価一覧表の作成.....	5
2-6. クロスセクター分析・その他調査.....	5
2-7. 報告書の作成.....	6
2-8. 会議への対応.....	6
3. 成果品.....	6
4. 業務組織計画及び連絡体制.....	6
5. 業務スケジュール.....	7

1. 業務概要

1-1. 業務の目的

モータリゼーションの普及、人口減少等による利用者の減少を背景に、元々厳しい状況であったシルキーバスの運営状況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響でさらに悪化し、地域公共交通を取り巻く環境はますます厳しさを増している。本業務は本市における公共交通の課題に対応し、アフターコロナを見据えた持続可能で最適な地域公共交通計画を構築していくため、市民をはじめ、市・国・県・交通事業者等の関係者の共通認識となる「岡谷市地域公共交通計画」の作成に必要な調査を実施することを目的とする。

1-2. 業務の概要

業務名：岡谷市地域公共交通計画策定支援（調査）業務

業務箇所名：岡谷市全域

履行期間：自) 2022年7月25日

至) 2023年3月31日

計画機関：岡谷市地域公共交通活性化協議会（事務局：岡谷市役所産業振興部商業観光課）

作業機関：株式会社 地域総合計画

〒382-0037 長野県須坂市大字野辺 1354-1

TEL:026-248-3645, FAX:026-248-1305

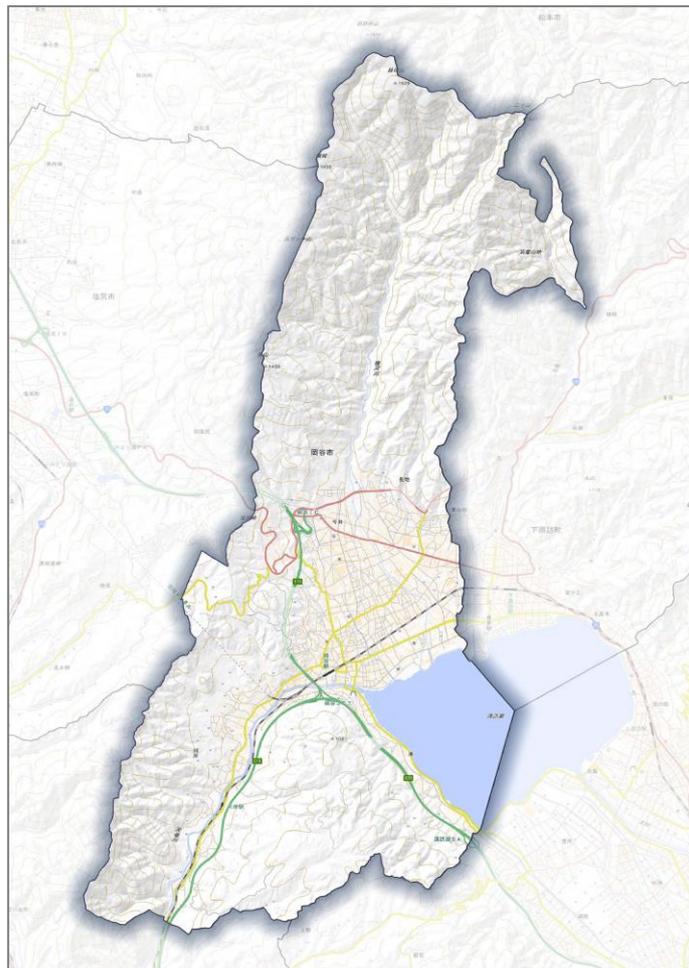


図 1-1 業務箇所

2. 業務内容

2-1. 地域概況・公共交通機関の実態把握

岡谷市の特徴について自然、人口、社会状況、土地利用状況等について整理・分析を行う。
また、公共交通の利用状況及び公費負担等から利用実態や運行特性を分析する。

表 2-1 地域概況の整理項目

項目	整理内容
地勢・自然	・標高、河川、鉄道、道路などを表示した地勢図
人口	・人口推移、3区分別人口割合の推移 ・メッシュ別人口（現況・将来）分布
通勤・通学流動	・通勤、通学の流動状況を図化
買い物動向	・岡谷市の商圏
施設分布	・行政機関、病院・診療所、商業施設、学校の分布
観光	・観光地の分布 ・観光地利用者数
自動車保有	・自動車保有台数の推移 ・自動車運転免許自主返納件数の推移

表 2-2 公共交通機関の実態把握

項目	整理内容
地域内の公共交通	・地域内で運行する公共交通の運行概要 ・主な公共交通を地図上で整理
公共交通カバー状況	・鉄道駅及びバス停から一定の範囲内への居住者数 ・全人口に対するカバー率
公共交通の利用状況	・鉄道及びバス（路線別）の年間利用者数 ・バスの月別・便別の利用傾向 ・バス停別乗降客数
財政負担等	・収支状況、系統別運行経費・公費負担額の推移等
利用者意見	・住民や利用者等から寄せられている意見の整理
事業者ヒアリング	・運行事業者に対して利用状況等についてヒアリング

2-2. 現行計画の評価及び上位・関連計画整理

岡谷市地域公共交通総合連携計画をはじめ、岡谷市が取り組んできた公共交通施策について検証を行う。

また、公共交通およびまちづくりに関わる上位計画・関連計画を把握、整理する。

■現行計画の整理項目

- | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・実施施策の時系列整理 ・目標指標の達成状況の確認及び検証 ・事業効果の検証 等 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

■上位・関連計画の整理項目

- | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>〈対象の上位・関連計画〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5次岡谷市総合計画 ・岡谷市都市計画マスタープラン ・岡谷市立地適正化計画 ・岡谷市地域福祉計画 ・岡谷市高齢者福祉計画 等 |
| <p>〈整理項目〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の将来像、まちづくりの方針、目標 ・将来都市構造, コンパクト+ネットワーク ・公共交通に関連する施策、事業の内容 等 |

2-3. バス路線OD調査・利用者アンケート調査

岡谷市内で運行されているバス路線を対象に、停留所間の移動実態（OD）とバス利用者へのアンケート調査を実施する。

対象路線	<ul style="list-style-type: none"> ・シルキーバス全路線 ・スワンバス及び岡谷茅野線の市内運行区間
調査時期	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年10月上旬 ・1路線につき平日・休日の各1日間
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バス路線OD調査 : 全便に乗車し、バス停間の移動実態を調査 ・利用者アンケート調査: 利用者を対象に、バス車内でアンケート調査を実施
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ビンゴカード形式のアンケート表兼OD調査表を用いた調査。 ※調査手順及び調査票イメージを次頁に掲載
調査項目(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用目的 ・乗継手段 ・利用頻度 ・職業 ・年齢 等 ・乗車バス停及び降車バス停

【ビンゴカード形式の調査表を用いた調査手順等】

問1 このバスの主な利用目的について

① 通勤 ② 通学 ③ 通院 ④ 買物 ⑤ その他 ⑥ 観光 ⑦ 業務 ⑧ 帰宅

問2 このバスに乗る前の移動手段について

① 徒歩 ② 自転車 ③ 自動車(自走) ④ 自動車(送迎等) ⑤ J R ⑥ 路線バス ⑦ 都市間バス ⑧ タクシー ⑨ その他

問3 このバスを降りた後の移動手段について

① 徒歩 ② 自転車 ③ 自動車(自走) ④ 自動車(送迎等) ⑤ J R ⑥ 路線バス ⑦ 都市間バス ⑧ タクシー ⑨ その他

問4 このバスの利用頻度について

① 毎日 ② ほぼ毎日 ③ 週1回 ④ 週2回 ⑤ 月1回 ⑥ 月2回 ⑦ 年数回 ⑧ ほぼ乗らない

問5 職業について

① 会社員(公務員等) ② 自営業 ③ パート/アルバイト ④ 高校生以下 ⑤ 大学生 ⑥ 主婦 ⑦ 無職その他

問6 年齢について

① 15歳未満 ② 15~19歳 ③ 20~29歳 ④ 30~39歳 ⑤ 40~49歳 ⑥ 50~59歳 ⑦ 60~69歳 ⑧ 70~79歳 ⑨ 80歳以上

問7 性別について

① 男性 ② 女性

- 調査手順
1. 調査員が乗車バス停を記入し、乗車時に調査票を利用者へ配布
 2. 乗車中に利用者のご自身で回答
 3. 降車時に調査員が調査票を回収
 4. 調査員が降車バス停を調査票へ記入

〈利用者が回答〉(設問案)

- ・利用目的
- ・乗継手段
- ・利用頻度
- ・職業
- ・年齢

等

ご協力ありがとうございました。降車の際に調査員にお渡しください。

【調査員記入欄】

時台		路線・系統名																																			
乗車	No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
降車	No.	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	

〈調査員が記入〉

- ・調査対象路線
- ・利用時間(便)
- ・乗車バス停
- ・降車バス停

2-4. 移動交通量の調査及び住民意向の把握

2-4-1. 移動交通量の調査

鉄道・自家用車等を含めた市内の総合的な人の動きを、人流ビッグデータを用いて分析する。利用するデータはポイント型流動人口データとし、個々の詳細な移動状況を把握する。

なお、後述の住民アンケート調査により、住民の移動について追加で調査を実施し、ビッグデータと組み合わせた分析を行う。

■調査概要

対象時期 : 2022年10月の1ヶ月間のデータを利用予定
 利用データ: 株式会社 Agoop 「ポイント型流動人口データ」

2-4-2. 住民アンケート調査

人流ビッグデータでは把握の難しい高齢者の移動ニーズを把握するとともに、将来の路線再編に向けた住民意向を把握するために、住民アンケート調査を実施する。また、住民アンケートでは公共交通に関する利用者数や財政負担などの現状に関する設問を設けることで、現在のバスの状況に関する情報提供を行い、公共交通への理解と関心を深める。

表 2-3 住民アンケート調査概要

調査内容	・日常行動や将来的な岡谷市の公共交通のあり方について
調査時期	・9月中旬～下旬
配布対象	・市内 1,700 世帯（回収率 40%を想定し約 700 件回収し、約 1,000 人より回答） ※統計的には 46,712 人（2022 年 5 月）に対して 400 人の回答があれば、許容誤差 5%・信頼水準 95%となる。
配布回収	・郵送による配布・回収
調査項目（案）	・回答者属性（年齢・職業・居住地・免許有無） ・最寄りバス停までの距離（徒歩でかかる時間） ・目的別の移動実態（行き先、頻度、時間帯、手段） ・普段バスを利用しない理由 ・バスを利用するための条件 ・公共交通に対する財政負担について考え ・将来的に望む公共交通の種類 ・その公共交通における支払い意思額

2-5. 路線評価一覧表の作成

前項までの調査結果等から、「ネットワーク」「安定性」「利用距離」「需要量」「輸送量」「事業収支」などの一定の基準・指標により評価した一覧表を作成する。

2-6. クロスセクター分析・その他調査

2-6-1. クロスセクター分析

地域公共交通の廃止により、通学、通院、買い物、観光、その他福祉移動等に必要となる行政コストを算出し、「公共交通に対する財政支出」と「公共交通を廃止した場合に必要な費用」を比較し、クロスセクター効果を分析します。

2-6-2. その他調査

(1)AI デマンドシステム事業者へのアンケート調査

路線評価一覧表を整理する中で岡谷市において必要となる機能を確認・整理し、それをもとに調査票を作成し、AI デマンドシステム事業者へアンケート調査を実施する。

機能比較や導入時の概算コストなどの把握により、将来的な路線再編に向けた基礎資料として活用できるよう整理を行う。

(2)その他調査

広域路線の利用状況の分析、他自治体の事例収集などを行う。

なお、他自治体の資料収集に関連して、県下自治体の公共交通に対する支出に関する情報を調査する。県交通政策課に情報提供の依頼を行い、不明な場合には調査方法について追って検討する。

2-7. 報告書の作成

前項までの分析結果を受けて、早急に改善が必要な路線の選定及び改善策を提案する。

また、全体を総括した報告書を作成する。

2-8. 会議への対応

前項で作成した調査報告書を用いて行われる会議に必要なに応じて出席し、資料説明や質疑等への対応をするとともに、出席者の求めに応じて追加資料などの提示を行う。

また、会議を経る中で修正が必要となった場合は修正を行い、3月末までに最終盤の成果品を提出する。

3. 成果品

- | | |
|------------|----------|
| ① 調査報告書 | 印刷製本 5 部 |
| ② 上記電子データ | 一式 |
| ③ 収集したデータ類 | 電子データ一式 |

4. 業務組織計画及び連絡体制

(発注者)

岡谷市地域公共交通活性化協議会
(事務局：岡谷市産業振興部商業観光課)

住 所：長野県岡谷市幸町 8-1
電 話：0266-23-4811

(受注者)

株式会社 地域総合計画

管理責任者：野平 芳一
担当技術者：宮澤 一成、水野 徹哉、徳竹 誠也

住 所：長野県須坂市大字野辺 1354-1
電 話：026-248-3645
メール：野平 nodaira@chiikisougou.co.jp
宮澤 miyazawa@chiikisougou.co.jp
水野 mizuno@chiikisougou.co.jp
徳竹 tokutake@chiikisougou.co.jp

5. 業務スケジュール

スケジュール	2022年(令和4年)					2023年(令和5年)				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①地域概況・公共交通機関の実態把握	調査準備	調査(上旬)	集計・分析	運行事業者ヒアリング						
②現行計画の評価及び上位・関連計画整理										
③バス路線のOD調査										
④移動交通量の調査及び住民意向の把握	住民アンケート準備	配布・回収(上旬~中旬)	集計・分析			ビッグデータ解析				
⑤路線評価一覧表の作成										
⑥クロスセクター分析・その他調査	クロスセクター分析									
⑦調査報告書の作成										
⑧会議への対応										

必要に応じて追加・修正

システム事業者アンケート等

必要に応じて追加・修正

7月~3月(2回~3回予定)